

病虫害発生予察 10月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

令和4年10月の気象表(長野地方気象台発表)

官署等		平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長野	本年	16.2	14.8	10.1	20.5	8.0	0.0	29.2	53.3	63.0
	平年	16.9	14.5	12.2	35.8	32.8	31.8	46.8	50.4	55.0
松本	本年	15.9	14.7	10.0	40.0	5.5	2.0	33.6	60.6	73.6
	平年	16.3	14.0	11.5	47.9	38.9	41.5	47.3	52.7	60.9
諏訪	本年	14.9	14.0	9.3	46.0	6.5	2.0	33.4	59.0	66.8
	平年	15.7	13.6	11.3	54.7	41.0	41.1	49.1	53.0	60.8
軽井沢	本年	12.2	10.9	6.4	49.5	5.0	7.0	35.6	41.9	71.9
	平年	12.7	10.6	8.5	56.4	49.7	45.0	40.7	45.2	54.4
飯田	本年	16.8	15.7	11.0	59.5	4.5	0.0	32.9	55.3	70.0
	平年	17.4	15.1	12.6	66.7	50.0	46.6	47.7	50.5	55.8

上旬は、前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多くなった。中旬から下旬は、高気圧に覆われ、晴れた日が多くなった。

上旬の中頃や、中旬の後半から下旬の中頃にかけては、この時期としては強い寒気が流れ込んだため、月平均気温は低くなった。

なお、長野地方気象台では、10月25日に東方連山で初冠雪を観測し、平年と同じ、前年より5日遅い観測となった。

また、10月26日は初霜と初氷を観測した。初霜は平年より6日早く、前年より4日早い観測となった。初氷は平年より12日早く、前年より22日早い観測となった。

1 水 稲

(1) 病虫害の発生状況

①カメムシ類(斑点米)

地区予察ほにおける斑点米の発生率は、平均すると平年並であった。県下10ほ場のうち、諏訪市、飯田市、安曇野市、大町市は平年と比べ高く、上田市、伊那市、飯山市は平年と比べ低かった。佐久市、南木曾町、長野市はほぼ平年並であった。着色粒の発生は全般に平年と比べ少なかった。

第1表 地区予察ほにおける斑点米と着色粒の発生率(%)

調査地点	品 種	斑点米		着色粒(斑点米を除く)	
		平年	本年	平年	本年
佐久市	コシヒカリ	0.025	0.020	0.072	0.050
上田市	コシヒカリ	0.056	0.030	0.171	0.105
諏訪市	ひとめぼれ	0.045	0.070	0.070	0.015
伊那市	コシヒカリ	0.179	0.010	0.213	0.010
飯田市	天竜乙女	0.136	0.195	0.407	0.090
南木曾町	コシヒカリ	0.085	0.095	0.209	0.040
安曇野市	コシヒカリ	0.063	0.135	0.131	0.010
大町市	コシヒカリ	0.062	0.160	0.094	0.050
長野市	風さやか	0.034	0.030	0.111	0.090
飯山市	風さやか	0.030	0.020	0.122	0.075
平均		0.071	0.077	0.159	0.054

(注) 1ほ場につき玄米20,000粒調査(2018年以前は30,000粒調査)。着色粒(斑点米を除く)は、カメムシ類の吸害により生じた斑点米以外で、玄米に着色が認められたもの。平年は2012~2021年の平均値。品種名は本年度の作付け品種。

②黄萎病(罹病再生イネ)

10月の再生イネの調査では、地区予察ほ、巡回調査ほを含む計70地点のうち、南信地域、中信地域の各1地点で発生が確認されたが、これらの地点における生育期間中の被害の発生は確認されなかった。

上記の調査ほ以外で、過去に発生事例がある地点(中信及び北信の計15地点)では、北信の2地点で発生が確認された。この2地点は、いずれも数年続けて確認されている地点であるが、発病株率はやや低かった。

第2表 巡回調査地点における黄萎病（罹病再生イネ）の発生状況

地域	調査地点数	発生地点数	発生地点率(%)		平均発病株率(%)	
			平成	本年	平成	本年
東信	15	0	0.67	0	0.00	0
南信	18	1	0.56	5.56	0.01	0.02
中信	20	1	7.32	5.00	0.21	0.02
北信	17	0	0.00	0	0.00	0
全県	70	2	2.27	2.86	0.06	0.01

(注) 各調査地点で300株調査。平均発病株率は調査地点別の発病株率を地域ごとに平均したもの。平成は2012～2021年の平均値。

第3表 過去に発生歴のある地点（巡回調査地点以外）における黄萎病（罹病再生イネ）の発生状況

地域	調査地点数	発生地点数	発生地点率(%)		平均発病株率(%)	
			平成	本年	平成	本年
中信	6	0	56.7	0	7.54	0
北信	9	2	27.2	22.2	0.50	0.14

(注) 各調査地点で300株調査。平均発病株率は調査地点別の発病株率を地域ごとに平均したもの。平成は2012～2021年の平均値。

2 りんご

(1) 生育概況

須坂市（果樹試験場）の果実肥大は、シナノスイートは平成と比べやや大きく、ふじは平成と比べやや小さい傾向であった（第1表）。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

調査日	シナノスイート								ふじ							
	縦径(mm、%)				横径(mm、%)				縦径(mm、%)				横径(mm、%)			
	平成	前年	本年	平年比	平成	前年	本年	平年比	平成	前年	本年	平年比	平成	前年	本年	平年比
10/1	72.8	78.7	85.2	106	91.6	93.5	94.6	103	75.5	71.2	72.8	96	88.4	88.1	84.7	96
10/15	82.0	81.2	88.9	108	98.3	96.1	98.3	104	77.2	73.3	75.0	97	90.3	89.3	87.2	97
11/1	—	—	—	—	—	—	—	—	78.8	75.1	77.6	99	91.9	90.9	88.8	97

平成は2007年～2021年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

① 褐斑病

巡回調査では、果実への発生がみられなかった。

② 斑点落葉病

巡回調査では、北信地域の一部のほ場で果実への発生がみられ、平成並の発生量であった。

③ 輪紋病

巡回調査では、南信地域、北信地域で発生がみられ、平成並の発生量であった。

④ 炭疽病

巡回調査では、中信地域、北信地域で発生がみられ、平成並の発生量であった。

⑤ すず点・すず斑病

巡回調査では、南信地域、中信地域、北信地域で発生がみられ、南信地域、中信地域での発病果率は0.3%で平成並であったが、北信地域（1ほ場）では発病果率は50.0%と高いところがあった。

⑥ キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、10月は第1半月～第2半月は平成と比べ少なく、第3半月以降は平成並～やや多かった（第2表）。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	10月					
	1	2	3	4	5	6
平成	175.8	55.1	21.5	4.3	2.8	0.3
前年	144	36	16	0	0	0
本年	23	26	26	12	5	2

平成は2012年から2021年までの平均値

⑦ シンクイムシ類

須坂市（果樹試験場）のモモシンクイガのフェロモントラップには、誘殺はなかった（第3表）。

須坂市（果樹試験場）のスモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平成並であった（第4表）。

第3表 モモシクイガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)
須坂市(果樹試験場)

区分	10月					
	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

第4表 スモモヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)
須坂市(果樹試験場)

区分	10月					
	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	1.1	0.2	0.2	0	0.3	0.5
前年	1	1	1	0	0	0
本年	1	1	1	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑧リンゴコカクモンハマキ

須坂市(果樹試験場)のフェロモントラップには、誘殺はなかった(第5表)。

第5表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)
須坂市(果樹試験場)

区分	10月					
	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0.5	0.5	0	0	0	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

3 かき

(1) 生育概況

高森町(南信農業試験場)の果実肥大は、平年と比べやや大きい傾向であった(第1表)。

第1表 かきの果実肥大状況 高森町(南信農業試験場)

品種名	区分	10月1日(mm)		10月15日(mm)		11月1日(mm)	
		縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
市田柿	平年	55.8	58.1	59.4	61.9	60.8	63.5
	前年	56.7	56.5	58.4	59.0	59.3	59.8
	本年 (平年比)	59.0 (106)	57.1 (98)	63.0 (106)	61.0 (99)	64.5 (106)	61.6 (97)

平年は2001年から2020年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、南信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

②炭疽病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③円星落葉病

巡回調査では、南信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

④カキクダアザミウマ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤カキノヘタムシガ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑦フジコナカイガラムシ

巡回調査では、発生はみられなかった。

4 野菜・花き

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害虫

巡回調査では、南信地域の施設栽培(抑制作型)でコナジラミ類の寄生がみられた。

病害はみられなかった。

②きゅうりの病害虫

巡回調査では、南信地域、中信地域の施設栽培(抑制作型)でべと病の発生が、中信地域の施設栽培(抑制作型)で褐斑病の発生がみられた。また、南信地域、中信地域の施設栽培(抑制作型)で、うどんこ病の発生が8月以降継続してみられた。

虫害は、南信地域の施設栽培（抑制作型）でアブラムシ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガの寄生がみられた。また、南信地域、中信地域の施設栽培（抑制作型）で、ハダニ類の寄生が9月以降継続してみられた。

③アブラナ科野菜の病害虫

巡回調査では、東信地域のブロッコリーで、黒すす病の発生が外葉にみられたが、花蕾への発生はみられなかった。また、中信地域のはくさいで、外葉に黒腐病の発生が周辺ほ場でみられた。

虫害は、東信地域のキャベツ、ブロッコリーの外葉で、コナガの食害がみられた。

東信地域、北信地域のキャベツで、チョウ目害虫が5月以降継続して寄生がみられた。また、東信地域のブロッコリーは6月以降継続して、東信地域のはくさいで8月以降継続して寄生がみられた。

④レタスの病害虫

巡回調査では、東信地域で斑点細菌病の発生が外葉にみられた。

虫害はみられなかった。

⑤セルリーの病害

巡回調査では、中信地域で萎黄病及び斑点病の発生がみられ、萎黄病は9月以降継続してみられた。

⑥アスパラガスの病害

巡回調査では、北信地域で茎枯病の発生が7月以降継続してみられた。

東信地域及び中信地域、北信地域で、斑点病の発生が9月以降継続してみられた。

虫害は、南信地域でアザミウマ類の寄生が6月以降継続してみられた。

⑦コナガ（アブラナ科野菜）

フェロモントラップ調査による誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）、上田市菅平（地区発生予察ほ）、東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）では、平年と比べやや少なかったが、小諸市（野菜花き試験場佐久支場）では、平年と比べ多かった。諏訪郡原村（地区発生予察ほ）では、10月第1半旬が平年と比べかなり多くなったが、第2半旬以降は平年並～やや多かった。長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では、第5半旬までは平年と比べかなり多かった。

第1表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	10月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	3.6	2.3	3.9	4.6	4.2	3.8
		本年	2	0	0	2	1	1
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	5.6	4.9	5.6	6.9	7.1	6.0
		本年	12	12	11	4	10	9
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	1.1	1.7	1.4	0.5	0.4	0.0
		本年	0	1	0	0	0	0
諏訪郡原村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	18.8	10.6	7.7	9.9	7.8	7.3
		本年	70	16	11	15	11	5
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	2.7	5.7	7.7	2.3	5.3	1.0
		本年	0	0	1	3	0	0
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	9.5	9.3	7.0	5.3	3.1	2.7
		本年	72	64	60	33	15	7

平年は2012年から2021年までの平均値。朝日村は2019年から2021年までの平均値

⑧オオタバコガ

巡回調査では、被害はみられなかった。

フェロモントラップ調査による誘殺頭数は、塩尻市（野菜花き試験場）では平年並～やや少なく、第6半旬は誘殺はなかった。

小諸市（野菜花き試験場佐久支場）では、10月第1～3半旬にかけて平年並であったが、第5半旬以降は平年と比べかなり少なかった。須坂市（農業試験場）では、第1～3半旬にかけて平年と比べかなり多かった。

第2表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半旬	10月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	65.9	56.3	50.4	21.7	15.1	6.0
		本年	57	19	42	40	20	0
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	72.0	56.6	54.9	46.3	49.3	29.0
		本年	68	46	65	18	3	3
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稻	平年	40.4	28.9	14.3	16.3	6.7	4.8
		本年	46	61	37	4	11	5

平年は2012年から2021年までの平均値

⑨ヨトウガ

巡回調査では、被害はみられなかった。

フェロモントラップ調査による誘殺頭数は、塩尻市(野菜花き試験場)では、おおむね平年並で、第5半旬以降誘殺はなかった。須坂市(農業試験場)では、誘殺がなかった。

第3表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半旬	10月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	6.0	3.3	1.2	0.7	0.3	0.0
		本年	6	0	2	1	0	0
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし・ 水稻	平年	1.2	0.7	0.3	0.3	0.4	1.1
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑩ハスモンヨトウ

巡回調査では、被害はみられなかった。

フェロモントラップ調査による誘殺頭数は、塩尻市(野菜花き試験場)では、おおむね平年並であった。須坂市(農業試験場)では、第3半旬は平年と比べかなり多かったが、その他はおおむね平年並～やや少なめであった。上田市(地区発生予察ほ)では、誘殺はなかった。

第4表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半旬	10月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	66.5	60.7	49.9	25.9	25.4	17.6
		本年	66	31	74	45	14	3
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稻	平年	74.4	84.3	90.2	65.5	90.0	52.4
		本年	15	60	162	27	26	15
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	2.3	1.0	1.0	0.6	0.0	0.0
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑪シロイチモジヨトウ

巡回調査では、被害はみられなかった。

フェロモントラップ調査による誘殺頭数は、塩尻市(野菜花き試験場)では、平年並～やや多かった。長野市上ヶ屋(地区発生予察ほ)では、誘殺はなかった。

第5表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半旬	10月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	3.5	2.8	2.1	1.3	1.2	0.5
		本年	4	1	4	6	8	3
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	-	-	-	-	-	-
		本年	0	0	0	0	-	-

平年は2012年から2021年までの平均値

⑫コナジラミ類

巡回調査では、南信地域の施設栽培(抑制作型)のきゅうりで寄生がみられた。

⑬アザミウマ類

巡回調査では、南信地域のアスパラガス、南信地域のねぎで寄生がみられた。

青色粘着トラップ調査による誘殺頭数は、上田市菅平では、第3半句以降誘殺はみられなかった。塩尻洗馬（地区発生予察ほ）では、第5半句で平年に比べてかなり多くなったが、その他の時期ではおおむね平年並であった。長野市上ケ屋（地区発生予察ほ）では、誘殺数は平年と比べかなり少なかった。

第6表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半句	10月					
			1	2	3	4	5	6
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	-	-	-	-	-	-
		本年	0	1	0	0	-	-
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	13.3	8.3	4.8	1.5	0.8	0.5
		本年	13	1	7	5	21	4
長野市上ケ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	43.0	26.5	8.0	6.0	0.0	0.5
		本年	5	1	0	1	-	-

平年は富士見町・塩尻市では2017年から2021年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2021年までの平均値

⑭アブラムシ類

巡回調査では、南信地域のきゅうり（施設栽培・抑制）で寄生がみられた。黄色粘着トラップ調査による誘殺頭数は、塩尻洗馬（地区発生予察ほ）では、第5半句で平年に比べてかなり多くなったが、その他の時期ではおおむね平年並であった。塩尻市宗賀（野菜花き試験場）、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）、長野市上ケ屋（地区発生予察ほ）では、おおむね平年並であった。上田市菅平（地区発生予察ほ）では、誘殺はなかった。

第7表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半句	10月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	2.6	1.6	3.2	1.6	0.8	0.8
		本年	5	2	2	2	3	2
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	2.6	3.8	3.6	3.4	1.6	2.0
		本年	1	2	3	1	8	3
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		本年	0	0	0	0	-	-
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	2.5	2.0	6.5	4.3	4.5	6.0
		本年	0	1	9	1	21	6
長野市上ケ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	2.0	1.0	0.5	0.5	0.0	0.0
		本年	4	0	1	0	-	-

平年は塩尻市・小諸市・富士見町では2017年から2021年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2021年までの平均値

⑮ハモグリバエ類

巡回調査では、南信地域のきゅうり（施設栽培・抑制）及びねぎで寄生がみられた。

⑯ハダニ類

巡回調査では、南信地域、中信地域の施設栽培（抑制作型）きゅうりで寄生がみられた。